



東広美町自主防災会
おおいしすみお
大石純夫さん

■市長 苦勞したことはあります。

■大石 要支援者の避難です。連絡をどのようにすればよいのか。また、自主防災組織に限ったことではないのですが、支援者も高齢者であることも悩みの一つです。

■市長 11月に、防災士の養成講座を実施しました。今回は、受講いただきました伊藤さんから、お話を伺いしたいと思います。

■伊藤 災害について深く考えるようになったきっかけは、東日本大震災です。

■市長 当時、小学校の教員でした。地震が起きたのは、子どもたちが放課後に、校庭

しい施設もあります。

■市長 市は避難計画の策定に取り組んでいます。自主防災組織や町内会の意見を聞きながら、地域の現状に即して作らなければいけないと感じています。

避難所に関しては、施設の維持経費や耐震性、備品や備蓄品をどこに保管するのかなどの問題もあります。今後も、地域の皆さんと話を進めたいと思います。避難所を指定する場所は、ここは大丈夫ですという場所を指定しなければいけない責任もあります。現在、県の合同庁舎を避難所の指定に向け、交渉調整もしています。

■伊藤 高すぎても避難をするのが大変ですよ。

■市長 スロープつけたとしてもアクシデントで人の流れが止まったときに、全員が冷静でいられるか。普段から訓練しておかないと、本番で事故が起きかねませ

で遊んでる時間帯。どのような行動を取るべきか、共通理解もできていませんでした。非常時は本当に時間がないので、話し合っておくべきだった、確認するべきことだったと身をもって経験し、悔しい思いもしました。その経験から、私は災害時の的確な判断ができるようになりたいと強く思います。

■市長 自主防災組織を立ち上げていますか。

■伊藤 住んでいるところは自主防災組織はありませんが、文化祭や盆踊りなど、行事ごとに地域の人が集まって食事を作っているのも、ずっと昔からやっている炊き出し訓練かと思っています。地域の結び付きはあります。町内会の活動の中で、防災を全面に出さなくても、取り組めるのではないかと感じています。

■大石 防災組織ではなく、結局は町内会として自主防災組織を運営した方が、いいと感じています。

■大石 今考えているのは、学校との連携です。

■大石 避難訓練は、防災的にはどうなんですか。

■廣崎 難しい問題です。個人の見解になります。土地によると思います。

■市長 一方通行のルールを守らない車が1台出ると混乱する可能性があります。

■廣崎 津波避難訓練の時に1度やってみるのもいいかもしれません。私はいつも思うのですが、津波避難訓練には、海に近いところに住んでいる人が避難すべきですが、訓練に参加しない。距離は長いし歩けない、というんです。自分の命を守るためにはやっぱり訓練に参加しないと駄目だと。そこもみんな考えてあげなければ駄目だと思います。

■繁名 震度5強以上であれば、電柱や建物の倒壊などの障害物も想定されます。

防災士は、人と人をつなぐ、組織と組織をつなぐ、という役割も、できるのではないかと思っています。名前を呼び合える関係づくりを、地域とつながる、人となつがるということ、自分は実践していきたいと思っています。

■市長 自主防災組織を立ち上げていますか。

■伊藤 住んでいるところは自主防災組織はありませんが、文化祭や盆踊りなど、行事ごとに地域の人が集まって食事を作っているのも、ずっと昔からやっている炊き出し訓練かと思っています。地域の結び付きはあります。町内会の活動の中で、防災を全面に出さなくても、取り組めるのではないかと感じています。

■大石 防災組織ではなく、結局は町内会として自主防災組織を運営した方が、いいと感じています。

■大石 今考えているのは、学校との連携です。

■大石 避難訓練は、防災的にはどうなんですか。

■廣崎 難しい問題です。個人の見解になります。土地によると思います。

■市長 一方通行のルールを守らない車が1台出ると混乱する可能性があります。

■廣崎 津波避難訓練の時に1度やってみるのもいいかもしれません。私はいつも思うのですが、津波避難訓練には、海に近いところに住んでいる人が避難すべきですが、訓練に参加しない。距離は長いし歩けない、というんです。自分の命を守るためにはやっぱり訓練に参加しないと駄目だと。そこもみんな考えてあげなければ駄目だと思います。

■繁名 震度5強以上であれば、電柱や建物の倒壊などの障害物も想定されます。

いますが、やはり学校と手を取り合い、学校から生徒や保護者にも伝えてもらい、市の避難訓練と一緒に参加してほしいと、考えてます。

■繁名 学校教育の中に、県の公表に即した地震津波の防災教育を強化した方がいいのではないのでしょうか。子どもの命を守るため、とても大切なことです。

■伊藤 東日本大震災は、残念な事例も起きています。監督する人たちがきちんと理解し、取り組んでもらいたい。訓練を重ね、体で覚えておくことは非常に重要です。

■日當 誰でも対応できるように、危機管理マニュアルを今一度整理して作成してほしいと思います。

■日當 小中学校では、アレルギーの調査を毎年必ず行っています。その調査票を避難所でも活用できるようになれば、よりいいのではないかと考えます。

■日當 養護教諭部会で久慈市共通のアレルギー調査票を作成できるよう、ぜひ盛り込んでいただきたいと思います。

■日當 私、震災当時はアレルギーを持った子どもを連れて避難所に行けないと思っていました。

■日當 台風第10号、第19号のときはアレルギー対応非常食が配られ、アレルギーを持つ子どもも安心して過ごすことができました。これは県内どこでもやれることではないと思います。久慈市は早い対応をしたと思います。公助の部分で守られている感覚があるかないかはすごく大きいことです。久慈市に住んでいて良かったと感じました。

防災は一人一人の意識がとても大事です。近所の顔

■市長 現在の湊小学校は非常に海に近いということもあり、移転を早急に進めなければなりません。学校は、学区をどうするか議論を始めると、さらに時間がかかります。何で浸水地域に建てるのかと話をする人もいますが、その議論を始め学区を変える話になると、話が進まなくなります。

■伊藤 子どもたちを早く安全な所に移して、命を守らなければならぬ。そこはご理解をいただきたいと思っています。

■市長 浸水する前提で、つくるとのことですよ。もしもですが、大地震が起きたら、すぐ逃げる。逃げるのが遅くなった人は、垂直避難で最上階を使ってもらいますが、子どもたちは安全なところに避難させます。

■大石 ハード面では避難所までの道路やトイレなど不安に思っています。また、新しく避難所に指定してほ

■大石 避難の難しさ

が見える自主防災組織や各市民団体など、もしもに備えてつながることも大切ですよ。

■大石 今すぐできる防災、自助は普段食べている日持ちがする食品を多めに買い置きすると、無理なく備蓄できます。

■日當 私、震災当時はアレルギーを持った子どもを連れて避難所に行けないと思っていました。

■日當 台風第10号、第19号のときはアレルギー対応非常食が配られ、アレルギーを持つ子どもも安心して過ごすことができました。これは県内どこでもやれることではないと思います。久慈市は早い対応をしたと思います。公助の部分で守られている感覚があるかないかはすごく大きいことです。久慈市に住んでいて良かったと感じました。

■日當 防災は一人一人の意識がとても大事です。近所の顔

■日當 養護教諭部会で久慈市共通のアレルギー調査票を作成できるよう、ぜひ盛り込んでいただきたいと思います。

■日當 小中学校では、アレルギーの調査を毎年必ず行っています。その調査票を避難所でも活用できるようになれば、よりいいのではないかと考えます。

■日當 私、震災当時はアレルギーを持った子どもを連れて避難所に行けないと思っていました。

■日當 養護教諭部会で久慈市共通のアレルギー調査票を作成できるよう、ぜひ盛り込んでいただきたいと思います。

■日當 小中学校では、アレルギーの調査を毎年必ず行っています。その調査票を避難所でも活用できるようになれば、よりいいのではないかと考えます。



アレルギーケア. くじ
ひなた
日當ます美さん

